

TOPICS

自動車問題審議会の設置を決定
カナダ政府、特別委員会に対応

が直面する諸問題に対処するため、自動車問題審議会を設置することになった。

これは、八月十五日、ラムリー

通商産業・地域経済開発大臣が発表したもので、五月に自動車関係業界および労組で構成する民間の自動車問題特別委員会が提出した勧告書に対する連邦政府の対応措置の第一弾。

ラムリー大臣によると、政府は今後、国内自動車産業の状況について年次報告書を作成することになつたほか、①自動車部品工業会と協力して新技術の取得につながる合弁事業やライセンス生産に関心をもつカナダ企業に対して援助する計画をたてる。②部品生産の拡大と生産性の向上を図る方策を検討する。③雇用調整・能力開発については、雇用・移民省と通産省の間で了解覚書の交換を検討する——といふ。

特別委員会が勧告した、自動車業界の技術・産業開発に対する政府援助については、ラムリー大臣は七月初めに発足した通産省産業・地域開発計画を利用するよう呼

びかけた。同計画は、産業基盤整備、技術開発、工場設置、設備の近代化および拡張、市場開拓などに適用されることになっている。

ラムリー大臣によると、政府は今回の対策に統一して、貿易政策、売上税、労働者給付金といつた特別委員会の提案も検討し、今秋にもまとまつた対策を発表するという。



ネモト駅に立つ根本氏(左)とドン・フィリップスBC州産業大臣

B.C州に「ネモト駅」「ネモト広場」
北東炭開発の功績を讃えて

ブリティッシュ・コロンビア州に、「ネモト駅」「ネモト・プラザ」というのができた。いずれも、州内北東部で進んでいたほか、州内北東部で進んでいたほか、①自動車部品工業会と協力して新技術の取得につながる合弁事業やライセンス生産に関心をもつカナダ企業に対して援助する計画をたてる。②部品生産の拡大と生産性の向上を図る方策を検討する——といふ。

カナダ政府は、国内自動車業界の技術・産業開発に対する政府援助については、ラムリー大臣は七月初めに発足した通産省産業・地域開発計画を利用するよう呼

炭積み出し港に向かう支線の分岐点。ネモト・プラザは、石炭開発のために作られたニュータウン、タンブラー・リッジのタウンホールの前の市民広場である。

日本钢管の専務だつた根本氏は、BC州北東炭開発プロジェクトに参画する交渉で日本钢管業界のまとめ役として活躍。五年間の交渉を経て、一九八一年二月、合意が成立、開発が開始された。今夏、炭鉱とりドリー島を結ぶ最後のトンネルが貫通、来年一月には石炭を積んだ第一船が日本に向かう予定である。

トルトー首相、内閣を改造
十三ホストを入れ替え

トルトー首相は八月二十一日、内閣の一部改造を発表した。変わったのは十三閣僚で、そのうち八人は他のボストから横すべり、残り五人が新規登用である。総選挙に備えた態勢固め、というのがもづばらの世評である。

副首相兼外務(アラン・マケッカン)、エネルギー・鉱山・資源(ジョン・クレチエン)、大蔵(マーカーク・ラロンド)、通産(エド・ラムリー)、農務(ユージン・ウエーラン)、国際貿易担当(エラルド・リーガン)、経済開発・科学技術(トニン・ジョンストン)、通信(フランシス・フォックス)などは変わらなかつた。

横すべりまたは新しく就任した主な閣僚は次の通り。

主な閣僚は次の通り。

主な閣僚は次の通り。

テリドンからNAPLPSへ

カナダが開発したビデオテックス・システム「テリドン」の名称が、今年6月からNAPLPS(ナブリブス)に変わった。NAPLPSとはNorth American Presentation Level Protocol Syntaxの頭文字をとったもので、カラー画像の作成・伝達に関する北米標準規格を指す。これは米国規格協会(ANSI)、カナダ規格協会(CSA)、それに電子産業協会(EIA)の合意で決めたもので、テリドンを基準とする北米の統一規格が定められたことにより、カナダのテリドン関連メーカーの活躍が期待されている。

ブルーム新商務公使が赴任

カナダ大使館では、今夏、経済商務担当のティラー公使が駐米大使館に転任して、新たにアーマン・ブルーム氏が着任したほか、若干の人事異動があつた。

ブルーム新公使(写真)は、一九三七年七月三〇日、フランスのパリで生まれ、サー・ジョージ・ウイリアムズ大学(モントリオール)、モントリオール大学で経済学を専攻。香港、北京、ロンドン、パリをへて東京に赴任した。

その他の異動は次の通り(カツコ内は前任者)。



シャーロット・ブロンテの「ジーン・エア」、ヤルイス・キヤロルの「不思議の国のアリス」といった英米の名作が、カセット・テープで聴ける——。

カナダでこの商売を始めたのは、オンタリオ州ダンズヒューにあるListen for Pleasure社。盲人用に

作られていた“読書用テープ”にヒントを得て、英国で吹き込まれた文学作品のテープを北米で一般に売り出したところ、大当たり。

一九八〇年の始めから今年の夏までにカナダと米国で約二十五万本のテープ(一本二千四百円)を売り、テープの種類も三十七から七十九に増やした。

ダーキン社長は、今年中には九十種類に増やし、売り上げ本数も八五年までに二、三百万本に伸ばしたい」と意気盛ん。